

第7回 日本水大賞 (2005年)

豊かな自然を育み、多くの生命の根源となる水。水は人と自然が共生して行く上で欠かせない、貴重なものです。今年も水循環系の健全化をめざすさまざまな活動を募集します。

青少年の国際交流を進めるため「ストックホルム青少年水大賞 日本代表」を設けております。この受賞者は2005年夏にスウェーデンで開催される国際コンテストに参加していただくことになります。

【対象となる活動内容】

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動(研究、技術開発を含む)を対象とします。

①水環境:例えば、以下の視点などから実施される諸活動

- 川や湖沼、海などの水をきれいにする。
- 水辺の生き物やそのすみかを大切にす。
- 水辺や水のある地域づくり。

②水資源:例えば、以下の視点などから実施される諸活動

- 水を大切にす。
- 山や川などの水源を大切にす。
- 異常洪水のときに被害を少なくす。

③水文化:例えば、以下の視点などから実施される諸活動

- 水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める。
- 水や川や湖沼、海など文化を創ったり広めたりす。(芸術、文学を含みます)
- 地域における水文化を発掘したり普及す。

④水防災:例えば、以下の視点などから実施される諸活動

- 水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する。(ハイテク機器、文化財、ライフライン等を水災害から守る)
- 雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す。
- 河川の伝統的技術や災害体験の継承等啓発、普及。

※ストックホルム青少年水大賞 日本代表に応募する場合は、上記①～④に関する調査研究、および調査研究にもつづいた実践的活動。

※その他、上記①～④の分野に関する国際的連携・技術協力・学会活動。

【対象となる活動主体】

以下のような方々が実施する諸活動を対象とします。(個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません)

- ①学校:小中学校、高等学校、大学などで行う活動など。
- ②企業:企業の研究や技術開発、製品開発活動、及び社会貢献活動など。
- ③団体:民間で組織する団体、または公益法人が行う活動など。
- ④個人:学校、行政、企業、団体を離れた個人が行う研究や技術開発、文化活動、または節水、水質保全のための生活改善運動などの諸活動。
- ⑤行政:地方自治体、水防団、消防団などで行う活動など。

※ストックホルム青少年水大賞 日本代表に応募する場合は、高等学校または同等の学校(ただし高等専門学校については1年生から3年生まで)に在籍している20歳未満の生徒または生徒の団体(クラブなど)による調査研究が対象となります。

※これまでに「日本水大賞」に応募された活動主体(大賞、大臣賞、市民活動賞、国際貢献賞を受賞した者を除く)や「青少年研究活動賞」に応募された活動主体(青少年研究活動賞を受賞した者を除く)もふるってご応募ください。

日本水大賞の内容/対象となる活動の中から、優れたものに対して、以下の賞を授与し、広く公表します。①大賞【クランプリ】(賞状・記念品と副賞100万円)水循環の健全化を図る上で、活動内容が幅広くかつ社会的貢献度が高く、総合的見地から見て特に優れたものに対して授与します。②大臣賞(賞状・記念品と副賞50万円)国土交通省、環境省、厚生労働省、農林水産省、文部科学省の行政目的に深いものの中から、特に優れたものに対して授与します。③市民活動賞(賞状・記念品と副賞30万円)市民活動の中から、特に優れたものに対して授与します。④国際貢献賞(賞状・記念品と副賞30万円)活動の範囲や効果が国際的であり、人・文化・技術の日本との交流も含め大きな功績をあげているものに対して授与します。⑤奨励賞(賞状・副賞10万円)①～④の上記各賞の他に特に優れたものに対して授与します。⑥ストックホルム青少年水大賞 日本代表(賞状・記念品と国際コンテストへの参加費用)高等学校または同等の学校(ただし高等専門学校については1年生から3年生まで)に在籍している20歳未満の生徒または生徒の団体による調査研究および調査研究にもつづいた実践的活動のうち特に優れたものに対して授与します。応募方法/応募用紙に所要事項をご記入の上、事務局までご持参もしくはご郵送ください。またE-mail (taisyo@japanriver.or.jp)の添付ファイルでもご応募いただけます。応募用紙は直接事務局に取りに来て頂く方法・郵送によるご請求・ホームページからダウンロードする方法 (http://www.japanriver.or.jp/taisyo/) のいずれかに取り入して下さい。なお、応募した書類は、「日本水大賞委員会」事務局に帰属します。また応募いただいた資料は返却いたしません。

※本事業は(財)河川環境管理財団 河川環境基金の助成事業で実施しております

募集期間 平成16年7月7日(水)～11月30日(火)

主催/日本水大賞委員会(委員長:高橋裕 副委員長:山岸哲 委員:赤星たみこ、石井可夫、大内照之、椎貝博実、庄子幹雄、白石興二郎、進士五十八、須藤隆一、千賀裕太郎、松尾友矩、虫明功臣、他) 後援(予定)/環境省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、(財)河川環境管理財団、(社)環境科学会、(社)日本経済団体連合会、(社)砂防学会、水文・水資源学会、(財)世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)、全国市町村教育委員会連合会、全国水防管理団体連合会、(社)全国治水砂防協会、全国都道府県教育委員会連合会、全国内水面漁業協同組合連合会、全国水環境交流会、電気事業連合会、(社)土木学会、(社)日本河川協会、(社)日本下水道協会、日本下水道事業団、(社)日本工業用水協会、(社)日本港湾協会、(財)日本自然保護協会、(社)日本水道協会、日本生活協同組合連合会、(財)日本ダム協会、日本地下水学会、(社)日本の水をきれいにする会、(社)日本水環境学会、(財)日本野鳥の会、日本陸水学会、日本林学会、(社)農業土木学会、(社)農村環境整備センター、(独)水資源機構、読売新聞社、等 協賛/(株)建設技術研究所、(株)東京建設コンサルタント、日本工営(株)、パンフィックコンサルタンツ(株) 「ストックホルム青少年水大賞 日本代表」に対する協賛/(株)荏原製作所、(株)日立製作所、(株)クワータ

【お問い合わせ・お申し込み先】事務局(社)日本河川協会 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.K.ビル3F
TEL.03-3238-9771(土曜・日曜・祝日を除く9:15～17:30) FAX.03-3288-2426 E-mail:taisyo@japanriver.or.jp